

THE NEWS LETTER 2012 SUMMER



Vol. 25

日本歯科審美学会
Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

ご挨拶・・再びモザイクパワーの提案

日本歯科審美学会・会長 千田 彰



今期、規則に従って前期までの次期会長から引き続き会長を務めさせて頂くことになりました。あらためて会員の皆様にこの場をお借りし、ご挨拶を申し上げます。

過去2年間は副会長・次期会長として前会長佐藤 亨先生の会務運営のお手伝いをさせて頂いて参りました。したがって会長としての学会運

営の“基本”は、前期執行部あるいはこれまでの諸先輩が築き、育て上げられてきたものであり、日本歯科審美学会の伝統と実績、骨格を引き継ぎ、出来るものであるなら、これら先達の理想と実績をさらに一歩でも前進させ、学会の発展に寄与したいと考えています。

すでに総会、理事会等で今期の事業計画、予算、執行人事などをご承認頂きましたので、これに基づいて粛々と責任を果たして参りたいと思っておりますが、一方で私が本学会に入会させて頂いて今日まで、一会員として個人的に描いてきた理想、感じてきたこともあり、これらを少し加味して学会の運営をして行きたいと思っております。本学会は歯学研究・教育関係者、開業臨床医、企業研究者、歯科衛生士、技工士など様々な職種の方が参加し、またその研究領域も多彩です。一言でいえば学際と簡単ですが、皆さんの目的、価値観などは複雑で、各々皆さんが満足出来るような状況を作っていくことはきわめて困難ではなかろうかと思えます。あえてこれを妥協し「混ぜ合わせる」ことをすれば会の運営には齟齬、錯綜、混乱が生じるのではないかと危惧します。そこで以前のニュースレターにもご紹介した「モザイク」を再び提案させて頂きたいと思えます。

モザイクは一つひとつのピースの色と形が異なり、決して「混ざる」ことはありません。しかしすべてのピースを積み上げてすばらしい芸術が生まれるのです。互いに尊重し、理解を重ねてピース夫々が主張し、責任を果たせば文字通りモザイク模様の美しい画像が生まれてきます。何卒日本歯科審美学会会員、ホワイトニングコーディネーターとして深いご理解、高い自負をお持ちになり、会の発展にご協力頂きますようお願い申し上げます。

第23回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

第12回アジア歯科審美学会・第23回日本歯科審美学会学術大会にむけて
北海道大学大学院歯学研究科 口腔健康科学講座 歯科保存学教室
大会長 佐野英彦



今夏は各地で天候不順とのことですが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。当地札幌では、桜の季節も終わり、徐々に夏に向かおうとしています。この時期は例年いったん冷え込むこと(前々回のレターでもふれました「リラ冷え」)が多く、まだまだ夏の気配を感じるには至っていな

いという空模様です。

さて、いよいよ第12回アジア歯科審美学会・第23回日本歯科審美学会学術大会の開催まで半月余りとなりました。

詳しいプログラムおよびタイムテーブルはホームページ(<http://www.kokuhoken.jp/aaad12/>)にて公開しておりますので是非ご覧ください。

.....

【メインテーマ】 The patient's demands come first

【会 期】 2012年7月19日(ウェルカムレセプション)・20日~22日(学術大会)

【会 場】 札幌コンベンションセンター(北海道・札幌市)

【大会HP】 <http://www.kokuhoken.jp/aaad12/>

【大会長】 佐野英彦(北海道大学大学院歯学研究科歯科保存学教室)

【実行委員長】 斎藤隆史(北海道医療大学歯学部う蝕制御治療学分野)

【準備委員長】 田中 享(北海道大学大学院歯学研究科歯科保存学教室)

【運営事務局】 (財)口腔保健協会 コンベンション事業部内

Tel: 03-3947-8761 Fax: 03-3947-8873

E-mail: aaad12@kokuhoken.jp



札幌コンベンションセンター



斎藤隆史実行委員長



田中 享準備委員長

【特別講演】 日本から4名、海外から5名の先生方のご講演です。

- 南 昌宏先生(大阪市開業)
- 山岡弘幸氏(有限会社アクア・エクセレ代表)
- 高橋 登先生(東京都開業)
- 佐藤嘉晃先生(北海道大)
- Prof. Mark Latta (米国 Creighton University)
- Prof. Marcos Vargas (米国 University of Iowa)
- Dr. Wynn Okuda (米国 ハワイ ホノルル 開業)
- Assoc. Prof. So-Ran Kwon (米国 Loma Linda University)
- Dr. Michael Morgan (米国 Hinsdale, Illinois 開業)

.....
【会長講演】

- 久光 久(アジア歯科審美学会会長)
- 千田 彰(日本歯科審美学会会長)
- Ronald M. Goodlin (アメリカ美容歯科学会会長)

.....
【代表講演】 アジア各国(8代表)の先生方のご講演です。

- 中国: Dr. WANG Guanghu (アジア歯科審美学会次期会長)
- インドネシア: Dr. Rudi Wigianto (バリ開業)
- 韓国: Dr. Ki-Seong Kim (韓国歯科審美学会副会長)
- モンゴル: Dr. Batzorig BAYARMAA (モンゴルヘルスサイエンス大学歯学部)
- ネパール: Dr. Sushil Koirala (アジア歯科審美学会副会長)
- シンガポール: Dr. ANG Chee Wan (歯周病専門医)
- スリランカ: Dr. V. Vijayakumaran (ペラデニヤ大学歯学部)
- 台湾: Dr. Hsi-Yao Wu (第8代中華審美歯科学会会長)

.....
【市民公開講座】

- 江本孟紀氏(野球評論家)
- 梅田 勝先生(厚生労働省北海道厚生局長)

.....
【セミナー】

- 歯科技工士: 坂本 裕先生(Y's Dent Studio,inc.)、枝川智之先生(パシャデンタルラボラトリー)、余田圭司先生(有限会社一隅社)
- 歯科衛生士: 千田 彰先生(愛知学院大・JAED会長)、武井典子先生(ライオン歯科衛生研究所・JAED副会長)、大槻昌幸先生(東京医科歯科大)、山羽京子先生(愛知学院大歯学部付属病

院・JAED認定衛生士)

●ホワイトニング：須崎 明先生(北名古屋市開業)

.....
【ランチョンセミナー】

●北迫勇一先生(東京医科歯科大)

<スポンサー>グラクソスミスクライン株式会社

●大河雅幸先生(東京都開業)

<スポンサー>スリーエムヘルスケア株式会社

●Assoc. Prof. So-Ran Kwon(米国 Loma Linda University)

<スポンサー>ウルトラデントジャパン株式会社
.....

また、一般発表は英文ポスター発表64題が登録されています。
今回の大会では、アジアの会員各々の親交を深めるため、7月21日(土)の午後にエクスカージョンの機会をもうけました。今回はゴルフ及び市内観光のツアーも計画しております。こちらにつきましてもホームページをご参照の上、奮ってご参加いただきたいと思えます。お気付きの点などございましたら、大会運営事務局までお問い合わせくだされば幸いです。

今夏には電力不足に伴い節電が叫ばれております。北海道も1.9%の電力が不足するとのことで計画停電の予定もあります。幸か不幸か、今のところ計画停電が実施されるとしても学会大会の終了した7月23日(月)からと聞いております。いささか不謹慎ではございますが、皆様に御不自由をかけずに済みそうで一安心しているところです。皆様におかれましては、涼しい北海道での学会大会に是非とも参加していただけますようお願い申し上げます。



第24回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

第24回 日本歯科審美学会学術大会に向けて

日本歯科大学生命歯学部接着歯科学講座 大会長 奈良陽一郎



このたび、第24回日本歯科審美学会学術大会の主管を学会から仰せつかり、平成25年7月20日(土)・21日(日)の両日、東京都千代田区にございます日本歯科大学生命歯学部において開催する運びとなりました。

「歯科審美」それは機能美、形態美、色彩美が求められ、幸せ、安らぎ、和みなどをもたらすと同時に、人を

知らず知らずのうちに積極的、活動的にさせてしまう不思議な力を秘めています。こうした心身と行動の変容は、広がりをもせる歯科医療・歯科医学の中にあって「歯科審美」が招来する特徴的な成果・結果であり、私たち歯科医療人がこれらを担っております。そこで今回の学術大会では、一般発表(口頭・ポスター発表)をはじめ、特別講演、教育講演、学会長講演に加え、臨床セッション、シンポジウム等を企画し、皆様をお迎えできるよう準備を進めております。

一般発表のポスター発表では、学会の表彰制度規則に則り優秀発表賞が授与されますので、多数のご発表を期待しております。また、大会2日間を通じランチョンセミナーと企業展示を設け、参加者が望む情報やニーズを少しでも多くご提供できるよう努めさせていただきます。さらに、第一日目の夕刻には、会員、参加者、講演者各位の意見交換や交流を深めていただくため、懇親会を開催いたしますので、お誘い合わせいただき十分にお楽しみください。

では、来年の梅雨明け、輝く太陽の下、皆様のご来臨をスタッフと共にお待ちしております。



アメリカ美容歯科学会報告

第28回 アメリカ美容歯科学会 (AACD) リポート

大阪大学大学院歯学研究科 歯科補綴学第一教室 若林一道

2012年5月2日-5日の日程で、Washington D.C.のGaylord National Resort and Convention Centerにて第28回アメリカ美容歯科学会 (AACD) が開催されました。今回の学会には約1,800人の参加があり、JAEDからは会長の千田 彰先生、常任理事の佐藤 亨先生、富士谷盛興先生、中村隆志先生、理事の椿 智之先生、演者として林美加子先生(大阪大・保存)、宮前守寛先生(大阪府開業)および筆者が参加し、その他の先生を含めると日本から20名弱の先生が参加されました。

初日は盛大なOpening Ceremonyの後にGeneral Sessionが行われ、終了後には学会参加者全員を対象としたWelcome Receptionが開催されましたが、その場所は映画『ナイトミュージアム2』の舞台である国立スミソニアン博物館でした。博物館を貸し切り、食事、お酒をとりながら館内を見学できるというもので、恐竜の骨やマンモスを見ながらのワインを飲むというのは日本では考えられないと、さすがAACDと感心しました。

講演は毎日午前と午後に分かれて、様々な演題の中から参加者が選んで出席します。日本の歯科審美学会は比較的大きなメイン会場とその他いくつかの会場にて学術大会が開催されますが、AACDでは午前の早い時間に大会場で開催される総合セッションを除いて、50名から150名程度が着席できる多数の小会場が使われます。

総合セッションでは歯科以外の一般教養に関する講演が行われ、メインとなる歯科関連の講演は最大20の会場を用い同時進行で行われました。セッションは午前あるいは午後の3時間が基本ですが、演題によっては、午前午後の6時間を使うものもありました。加えて、ダイレクトボンディングによるレジン修復などのテーブルクリニックも開催されていました。参加者は事前に自分が聴講するセッションをネットで予約することができるので



宮前先生の講演



林先生の講演

すが、人気のある講演やテーブルクリニックは、予約だけで満員になるそうです。各セッションをきっちり受講することが、研修の要件になっていますので、途中の入退室にはとても厳しく、ネームカードを各部屋の前の受付に預けないと退室できないという厳重さでした。

今回の演題数は4日間で100以上にのぼり、コンポジットレジン修復、MI、インプラント、ホワイトニング、スマイル、マテリアルなど歯科審美の基本となる講演だけでなく、診療所のマネージメント、ファイナンスなどテーマは多岐にわたっていました。演者には世界的に著名な先生方は少ないようで、一般の臨床家の先生に向けた基本的、臨牀的なあるいは実践的な審美歯科治療に関する講演が多いようでした。

著名な演者としては、咬合の大家であるDr. Peter Dawson、アメリカの審美学会の創始者Dr. Ronald GoldsteinとそのパートナーDr. David Garberらが講演をされていました。

本学会からは林美加子先生、宮前守寛先生の両先生が "How to achieve the best oral cosmetic appearance while preserving maximum natural tissues" のテーマで講演を行いました。

業者展示は昼食会場を兼ねており、かなり大きな会場で業者展示が行われ、その会場内にて国際ポスターセッションが開催され、日本からは10演題の発表がありました。

最終日のガラディナーでは、長年にわたる両学会の交流促進の功績に対して、千田 彰会長にPresidential Awardが授与されました。また、Dr. Ron GoodlinがAACD新会長として紹介されました。

2013年のAACD年次大会は4月下旬にシアトルで開催されます。学会参加料は日本の学会と比較するとかなり高額ですが、JAEDの会員には登録料の大幅割引もありますので、JAEDのみならずAACDにも是非ご参加ください。



スミノアン博物館でのWelcome Reception



ガラディナーにて

セミナー開催報告

第4回 セミナー開催報告

セミナーコーディネーター 大阪市開業・六人部慶彦



2012年1月29日(日)に平成23年度・最期のセミナーが審美修復治療における長期的予後を再考する点に焦点をあて、「審美修復治療を成功させるために保存、補綴、衛生士、技工士それぞれの立場ですべきこととは」をテーマに、愛知学院大学歯学部楠元キャンパス110周年記念講堂にて開催されました。

まず、会長の愛知学院大学歯学部教授の千田 彰先生に「美しく豊かな加齢を支える審美歯科」という演題で基調講演を賜り、次いで歯科衛生士の立場からナグモ歯科赤坂クリニックの田島菜穂子先生に「長期メンテナンスを成功させるためにー歯科衛生士から審美歯科に潜む落とし穴をさぐるー」という演題で御講演を頂戴しました。次いで、保存の立場から愛知学院大学歯学部准教授の富士谷盛興先生に「審美修復物の良好な予後を得るためのセルフケア、プロケア・キュア」という演題で御講演頂きました。休憩を挟み、補綴の立場から大阪市開業の六人部慶彦が「審美補綴治療を行うにあたりチェアサイドですべきこととは」という演題で講演させて頂きました。技工士の立場からは(株)カस्पデンタルサプライ/カナレテクニカルセンター代表取締役の山田和伸先生に「ジルコニアオールセラミックスの製作時に考慮すべき要点とは」という演題で御講演頂きました。最後に昭和大学歯学部保存学講座教授・美容歯科科長の真鍋厚史先生に「美容・審美修復治療を快適に続けて頂くために」という演題で総合的な御講演を頂戴しました。講演会終了後は活発な質疑応答が行われました。参加人数は166名でその内訳は、会員歯科医師37名、非会員歯科医師5名、会員歯科衛生士16名、非会員歯科衛生士97名、会員歯科技工士2名、非会員歯科技工士9名でした。ホワイトニングコーディネーター更新目的で歯科衛生士は毎回多数参加頂いているものの、歯科医師、歯科技工士の参加が少ないことは、我々セミナー委員としては今後の課題として真摯に反省しなければならぬと感じております。今年度はより多くの歯科医師、歯科技工士の先生方に御参加頂く企画を立案する所存でありますので、御協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

委員会報告

歯科審美編集委員会

本年4月より寺田善博前委員長の後任として編集委員長をお引き受けいたしました。前委員会では副委員長として「歯科審美」の編集を手伝わせていただきました。実は本編集委員会に幹事としてメンバーに加わってから10年以上の長きにわたり、継続して編集委員を務めて参りました。したがって「歯科審美」の編集に関しては、いわゆるベテランの部類に属していますが、今回は編集委員長としての責任の重大さを感じている次第です。この場を借りまして、平成24・25年度編集委員会のメンバーを紹介させていただきます。濱野 徹先生、井上裕之先生、森和美先生、永留初實先生(前幹事)の各先生にはご留任いただき、新メンバーとして遠藤俊哉先生、風間龍之輔先生、金子 潤先生、齋藤 功先生、柵木寿男先生、鈴木雅也先生(幹事)を編集委員会に迎えることができました。私を含めて11名のメンバーで、魅力ある「歯科審美」を編集していきたいと思っております。

これからの「歯科審美」は、日本歯科審美学会の学会誌としてどのような特色を示すべきなのか、再考してみる必要性を感じております。原著論文の掲載はいうまでもなく重要な事項ですが、審美歯科治療の症例報告をさらに増やしなから臨床的カラーを強く出し、学術雑誌としても「審美」を追究していきたいと考えておりますので、会員の皆様方から積極的なご投稿を賜れますように何卒よろしくお願い申し上げます。(委員長 新海航一)

国際渉外委員会

日本歯科審美学会は組織として、AAAD(アジア歯科審美学会・久光 久会長)とIFED(国際審美歯科連盟)に加入しています。本年7月には、AAADと日本歯科審美学会のジョイントミーティングが札幌で開催され、アジア8カ国の代表が講演を行うことになっています。また2013年の9月にはIFEDのミーティングがミュンヘンで開催される予定です。日本歯科審美学会は、このような国際学会に参加協力するだけでなく、演者を派遣しています。

さらに、日本歯科審美学会は韓国歯科審美学会(KAED)およびAmerican Academy of Cosmetic Dentistry(AACD・アメリカ美容歯科学会)と姉妹協定を締結しており、これらの学会と演者や論文の交流を行っています。最近では5月のAACD年次大会(ワシントンDC)に林美加子先生(大阪大)と宮前守寛先生(大阪府)を演者として派遣しました。ワシントン大会では、千田彰会長がAACDの会長賞を授与されました。この大会の詳細は歯科審美雑誌のレポートをご覧ください。

国際渉外委員会はこのような国際交流を進めていくのが役割です。委員には田上直美(長崎大)、林美加子(大阪大)、富士谷盛

興(愛知学院大)、若林一道(大阪大)、脇 智典(東京都)の各先生に就任いただきました。皆様よろしくお願ひ申し上げます。

(委員長 中村隆志)



AACDワシントン大会で講演を終えた林美加子先生と宮前守寛先生 サリバン会長から会長賞を授与された千田 彰会長

国内渉外委員会

平成24年度から学会執行部が佐藤 亨会長から千田 彰会長へ引き継がれ、新しい体制のもとで学会運営が始まりました。私は前期に引き続き国内渉外委員会の担当を命ぜられました新潟大学の福島正義でございます。これから2年間よろしくお願ひ申し上げます。

国内渉外委員会は歯科審美の社会および歯科界への普及活動や歯科関連学会との連携などの役割が与えられています。平成22年度から始まりました歯科界への普及事業として歯科衛生士と歯科技工士の養成機関への出張講義が継続されることになりました。過去2年間の実施回数は39回となり、とくに歯科衛生士養成校では2年連続の要請を含めて32校で講義を行ないました。これは全国にある歯科衛生士養成校154校の2割に相当します。講師を務めてくださった学会役員の先生方に感謝申し上げます。今年度の出張講義の案内はすでに開始しております。学会会員の皆様にもお近くの養成学校に本事業をご紹介いただくことをお願ひ申し上げます。(委員長 福島正義)



社会・保険委員会

社会・保険委員会は「診療報酬改定に関して、厚生労働省へ歯科医療技術評価提案書を提出するためのすりあわせを行う。」ということが主な活動内容です。多くの歯科臨床に関する分野に関わる本学会としましては、関連諸学会ならびに関連団体との情報交換を行いながら次期保険診療補修改訂に向けての準備を行ってまいります。委員会の構成メンバーが新しくなり、平成24年度の改訂が行われたばかりですので、現時点で活動内容を報告できるまでには至っておりませんが、平成26年度の改訂に向けて今後活動を行ってまいります。

委員会のメンバーは以下です。よろしくお願いたします。
藤澤政紀(委員長/明海大・補綴)、小峰 太(日本大・補綴)、
斎藤隆史(北海道医療大・保存)、照井崇之(東京都開業)、柵木
寿男(日本歯科大・保存)、遠藤 聡(幹事/明海大・補綴)
(委員長 藤澤政紀)

認定医・認定士審議会

認定審議会では、新規および更新申請の書類審査や新規申請者のケースプレゼンテーションの審査などの業務を行っています。今後、認定制度のあり方などを検討するとともに、認定取得後のフォローアップに関しても関連委員会と話し合いを進め、より充実した学会活動につながるようにする予定です。

以下に平成23年度に行われました本委員会の報告をさせていただきます。

認定審議会の実施状況

1. 平成23年8月6日 平成23年度 第2回合同審議会

- 1) 第29期新規認定医審査：3名合格
- 2) 第12期新規認定士審査：1名合格
- 3) 認定士更新書類審査：1名合格

2. 平成23年10月7日 平成23年度 第3回合同審議会

- 1) 第30期新規認定医審査：10名合格

3. 平成23年12月8日 平成23年度 第4回合同審議会

- 1) 第31期新規認定医審査：10名合格
- 2) 第12期新規認定士審査：1名合格
- 3) 認定医更新診査：4名合格、1名保留
- 4) 認定士更新書類審査：1名合格、1名保留

今後の予定について

- ・第32期認定医、第13期認定士試験書類申請受付：平成24年4月27日(金)
 - ・書類審査結果通知：平成24年7月2日(月)
 - ・症例提示および口頭試問：平成24年8月18日(土)・予備日19日(日)
- 多くの会員に、資格を取得されますようお願い申し上げます。

なお、申請に当たりましては本学会のホームページをご参照頂くか、(財)口腔保健協会日本歯科審美学会事務局までお問い合わせをお願いいたします。今後とも何卒よろしく願い申し上げます。

(委員長 宮崎真至)

セミナー統轄部会・セミナー委員会

セミナー統轄部会、セミナー委員会はご覧のような豪華キャストで共同してセミナー関連の仕事を進めてまいります。また、上部組織としての学術部門(奈良陽一郎学術委員長)の一部として学術委員会とも連携し、歯科審美の学術活動を活性化させることも重要な仕事となります。

さて、何故にこのようなこのような組織運営になったかと申しますと、千田 彰会長のお考えのもと、各種セミナー活動を全体的に見直しながらセミナーを行っていこうという方針に則っているからです。ご存じのようにホワイトニングコーディネータはすでに過去に8,000人を超える登録がっており、この更新を踏まえた活動をどのように進めていくか問題です。

一方、佐藤 亨前会長が随分努力されましたが、認定医の方は200名にもたどり着かない状況で、これらのアンバランス感が存在します。

このような背景があることから、5月31日にセミナー在り方に関する関係者会議を開催し、認定医、各種コーディネータのあり方なども踏まえ、今後のセミナー活動の方向性を議論し、今期のセミナー活動の方針を明確にしていきたく考えております。1回の会議ですべてが決まるような簡単な話ではありませんので、皆様におかれまして是非、忌憚のないご意見ならびにセミナー活動にご理解、ご協力をいただきたくよろしくお願いいたします。

なお、真鍋WC委員会委員長のもとホワイトニングコーディネータに関連するセミナーにつきまして、今年度も3回の開催予定が決まっておりますので、多くの衛生士さんの参加をお願いいたします。

部会長：佐藤博信(常任理事)、副部会長：日野年澄(理事)、統轄部会委員：齊木好太郎(副会長、技工士セミナー委員会委員長)、片山 直(DCC委員会委員長)、三浦廣行(MTM研修会委員会委員長)、真鍋厚史(WC委員会委員長)、宮崎真至(認定審議会委員長)、福島正義(国内外交流部門長)、富士谷盛興(総務)、武井典子(歯科衛生士部門副会長)、会長・副会長(オブザーバー)委員長：佐藤博信(常任理事)、副委員長：日野年澄(理事)、委員：有田博一、武井典子、田上直美、松永興昌、六人部慶彦、山田三良、若林一道 (委員長 佐藤博信)

ホワイトニングコーディネーター委員会

今年度第1回ホワイトニングコーディネーター委員会(以下WC)は2012年5月24日に開催されました。当日はお忙しい中、執行部から千田 彰会長、宮内修平副会長、齊木好太郎副会長をはじめ、富士谷盛興総務担当常任理事にも御臨席を賜り、貴重なご挨拶を頂きました。今期WC委員をお引き受けいただいた先生方の紹介の後、今後のホワイトニングコーディネーター制度のあり方、学会としての位置づけについて議論し、具体的な方向性を確認致しました。また、第1回から3回までのホワイトニングコーディネーター講習会の予定案を提出し、認められました。

新委員は次の通りです。委員長：真鍋厚史(昭和大歯学部歯科保存学講座美容歯科)、委員：稲垣美穂子(愛知学院大歯学部附属病院歯科衛生部)、海老原隆(日本歯科大新潟病院総合診療科)、河合利浩(愛知学院大歯学部保存修復学講座)、酒井麻里(昭和大歯科病院歯科衛生士)、高田恒彦(開業医・たかた歯科クリニック)、田嶋美樹(フリーランス歯科衛生士)、永井茂之(開業医・永井歯科診療室)、富士谷盛興(愛知学院大歯学部保存修復学講座)、古川匡恵(昭和大歯学部歯科保存学講座美容歯科)、幹事：守田宏子(昭和大歯学部歯科保存学講座美容歯科)

今年度のホワイトニングコーディネーター講習会につきまして、以下の日程で予定しております。詳細につきましては、決定次第ご案内申し上げます。

- 第1回：【東京】平成24年9月2日(日)
- 第2回：【大阪】平成24年12月16日(日)
- 第3回：【名古屋】平成25年2月10日(日)

(委員長 真鍋厚史)

デンタルカラーコーディネーター委員会

当委員会は学術関連部門、セミナー統括部会のなかに入っておりますので当然のことながらセミナー開催が事業の一環です。とはいえベーシックな内容となるので前年に行なわれましたように、他セミナー部門との共催の形態が一番良いと考えております。

日本歯科審美学会教授要網の冒頭にあるように「テクニカルな臨床分野のみと誤解される傾向にあることから、歯科審美学に関する一般的理解することは不可欠である」とのことから、委員会では総論では1) 歯科審美学に関する一般的知識、各論においては2) 色彩の基礎知識、さらに6) 歯科審美の病態と診査・診断・治療を中心に各セミナーの基礎となる部分を担当したいと考えております。今後、各セミナーの先生がたと協議し、歯科審美学の普及とレベルアップに寄与したいと思います。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

メンバー：片山 直、木暮ミカ、末瀬一彦、田中 誠、永井茂之、
吉田周平 (委員長 片山 直)

MTM研修委員会

過去2期にわたりMTM研修委員会を担当させて頂いた中で、会員の皆様にMTM治療に関するアンケート調査や、調査論文等でその結果をご報告してまいりましたが、その中で現在は直接日常の臨床に役立つようなヒント集の編纂を行っていく方向で進んでおります。昨年の東日本大震災の影響で少なからずペースダウンいたしました。今期はそれを取り戻すように邁進していきたいと思っております。

2期にわたりご助力頂きました富士谷盛興先生と黒田康子先生に代わりまして、今期から海老原隆先生、香川正之先生をメンバーに迎え、照井崇之先生には再度お願いし、新規メンバーにて担当していくことになりました。どうぞ宜しくお願いいたします。(委員長 三浦廣行)

歯科技工士部門・歯科技工士セミナー委員会



千田 彰会長のもと新体制となりました歯科技工士部門および歯科技工士セミナー担当を引き続き拝命致しました。宜しくお願いいたします。

歯科技工士部門としては、日本歯科審美学会(以下、本会)認定士による編纂、著による別冊を医歯薬出版社「歯科技工」より発行をさせて頂きました。すでに第1巻、第2巻に関しては、本ニュースレターにてご報告をさせて頂きましたが、その第3巻として「総義歯、部分床義歯の審美—形態・色彩・機能が調和する技工操作の進め方—」として、

同じく昨年12月に発行をさせて頂きました。内容的には、床義歯と審美、総義歯・部分床義歯の形態・色彩・機能、高齢患者とのコミュニケーションの章立てで、ややもすると床義歯と審美の関係が浅いと思われる関係を、より詳細に統計的に解説され具体的な術式にも言及しております。千田会長も巻頭言にて「新たな時代の審美歯科治療、審美的な床義歯製作に必ず

や大きな貢献を果たす」と述べられておりますので是非ともご一読をお奨めさせていただきます。このように、本部門は、今後も歯科技工士会員の活動の活性化や広く本会の目的を知らしめるよう歯科技工士会員と共に推し進めたいと思っております。

歯科技工士セミナー委員会は、過去にはセミナー委員会指導の下に、歯科技工士を対象としたセミナー等を開催させて頂きました。今期は齊木好太郎(委員長)、山口佳男(副委員長)、石川功和、鍛治田忠彦、齋藤哲也(委員)の5名にて担当をさせて頂きます。本委員会は、佐藤信博委員長のセミナー委員会と連携を密にしながらか歯科技工士を主としたセミナー企画・運営を行う事を役割としています。本年7月22日(日)開催の第12回アジア歯科審美大会と併催される第23回日本歯科審美学会学術大会では、枝川智行先生(歯冠修復)、余田圭司先生(有床義歯)、坂本 裕先生(インプラント修復)方による「審美修復への歯科技工の貢献」をテーマに「歯科技工セッション」を開催させて頂きます。各分野での歯科審美治療に係わる歯科技工士としての役割・貢献をお話ししていただく予定です。本セッションにも是非とも多数のご参加をお待ちしています。

歯科技工士部門と歯科技工士セミナー委員会は、共に連携と補完しながら千田会長の本会ホームページのご挨拶にも有りますように、本会歯科技工士会員としてより良い「モザイク」となるべく会務運営と共に歯科審美学、審美歯科治療の啓蒙と普及を歯科技工士の分野でより努めたいと存じますので何卒宜しくお願い申し上げます。(副会長 齊木好太郎)

.....

歯科衛生士部門

【ホワイトニングコーディネーター】

ホワイトニングコーディネーターは現在5,213名、それに対して、日本歯科審美学会の歯科衛生士会員は現在1,330名(内500名がホワイトニングコーディネーター有資格者)しかおらず、多くのホワイトニングコーディネーターが残念ながら会員でないのが現状です。ホワイトニングコーディネーターの方は是非、日本歯科審美学会の会員になって、さらに研鑽を積んで頂ければと考えています。

ホワイトニングコーディネーターの資格取得後、日々の臨床において意識変化があった事と思います。学会から多様な情報が発信されています。ご入会され、さらに知識や臨床技術など、自分自身のレベルアップを図ってみませんか。学術大会や各種セミナーに参加すれば、審美歯科領域の最新かつ高度な知識や情報が得られ、仕事上での悩み、不安、疑問の解決ヒントがきっと見つかるでしょう。その結果、患者さんに対し、より詳しく説明が出来るようになり、臨床でも最新の技術を活かす事が

出来るようになるかと思えます。日本歯科審美学会からの知識や情報の一方通行ではなく、自己啓発のために学術大会や各種セミナーを活用頂ければと思えます。

繰り返しになりますが、ホワイトニングコーディネーターの方は是非日本歯科審美学会にご入会ください。そして、学会から発信される情報を日々の臨床にご活用頂き、さらに歯科衛生認定士を目指して頂ければと思っています。(委員 山羽京子)

.....

倫理委員会

倫理委員会は、所属機関に倫理審査委員会を有していない会員のために、学会として対処ができることを目的として設置されました。学術大会における発表、学会誌に掲載される論文、会員の活動等の内容で、倫理審査が必要となる事項が対象となります。会員、学会からの要請に応じて倫理審査を実施すべく、準備、検討を重ねてまいります。今期委員会構成員は、委員長：松村英雄(日本大歯学部)、委員：越野 寿(北海道医療大歯学部)、山口佳男(日本歯科大東京短期大学)、幹事：小泉寛恭(日本大歯学部)です。どうぞよろしくお願いたします。(委員長 松村英雄)

.....

表彰委員会

平成24年4月1日付で6名の新人委員(大森かをる、橋場千織、富士谷盛興、柵木寿男、真鍋厚史、奈良陽一郎)が2ヶ年の表彰委員会事業のお役目を仰せつかりました。

会員各位も、本学会誌である「歯科審美」やインターネットのホームページを介して、会則をご覧になられたことがあると拝察いたします。すなわち、会則第6章「事業」の第26条には、「表彰(学会功労賞、優秀論文賞、優秀発表賞)を行う。」と明記されており、学会の定め事として、私共の委員会に対しその責務を求めています。また、委員会の目的については、「本会の進歩・発展に寄与し、歯科審美学領域において業績があったと認められる者を表彰すること」と「表彰制度規則」に明示されています。これら役儀の遂行は、会員各位に納得いただけるものでなくてはなりません。また同時に、国民の代表者ともいえる患者にとっては信頼性に長けたものでなくてはなりません。

長岡英一前委員長をはじめとする前委員は、本委員会が担う責務のバイブルである「表彰制度規則」について、「表彰制度施行細則」と齟齬が生じないよう熟慮熟考を重ね、改訂なさってから私共にバトンを渡して下さいました。私共新メンバーはこれらを遵守運用し、会員各位・患者(国民)にとって利のある表彰を、冷静かつ情熱をもって行って参りたく思います。(委員長 奈良陽一郎)

会則検討委員会

本委員会は、千田 彰会長の新たな体制で再び設置されることになり、私が委員長をさせていただくことになりました。福島正義先生、石川明子先生、海老原隆先生、高田恒彦先生、田上直美先生、友田篤臣先生、仲宗根史子先生、山羽京子先生に委員をお引き受けいただき、「法人化」「次期会長制度」に関する会則の検討の他、「ホワイトニングコーディネーター制度」や「表彰」に係る会則については、各委員会と連携し検討していく予定です。
(委員長 大森かをる)

ホームページ・ニュースレター委員会

ホームページ・ニュースレター委員会は歯科審美編集委員会とともに広報・編集部会を構成し、本学会の広報活動を行っております。今期の委員は橋場千織(東京都開業)、若林一道(大阪大)、佐藤かおり(愛知学院大)、吉川一志(大阪歯科大)、山本一世(大阪歯科大)の5名です。機関紙である「歯科審美」と連携して、密度の高い広報活動を行ってゆきたいと考えております。

学会ホームページは前委員長の佐藤博信先生のもと、一昨年に大幅にリニューアルされています。とくに会員専用ページでは、ご自身の会員情報や各種学術大会・セミナーの参加情報が表示されます。ぜひご利用いただくとともに、住所等連絡先の変更が生じた場合にはお早めの変更手続きをお願いいたします。またお読みいただいているニュースレターは、国内外で開催予定の審美歯科関連学会のお知らせならびに会員による参加報告、本学会が主催する各種セミナーの報告、各種委員会からの最新の報告、また審美歯科に関連した新規器材に関するトピックス等を主な内容とし、「歯科審美」とともに会員の皆様へ有益な情報を提供しています。これからもご愛読のほどよろしく願いいたします。
(委員長 山本一世)

会員数・認定医および認定士数(2012年5月28日現在)

【会員数/4,061名(賛助会員を含む)】

A会員(歯科医師)/2,545名

B会員(歯科技工士、歯科衛生士など)/1,462名

賛助会員/31社

【認定医数/107名】

【歯科技工認定士数/33名】

【歯科衛生認定士数/28名】

賛助会員一覧

相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



アストラテック株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-1
八重洲口大栄ビル12F
Tel: 03-3243-5055
<http://www.astratech.jp>

石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24 4F
Tel: 03-6903-3535
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-15
ATビル2F
Tel: 03-3437-0751
<http://www.ultradent.com/>



株式会社エイコー
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3834-5777
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>

長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15
GSKビル別館9F
Tel: 03-5786-5012
<http://glaxosmithkline.co.jp>

クラレノリタケデンタル株式会社

クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraraynoritake.jp/>

サンメディカル株式会社

サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜松宮ビル5F
Tel: 03-5148-7895
<http://www.sirona.co.jp>



スリーエムヘルスケア株式会社
〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1
Tel (フリーダイヤル): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>

 **タカラベルモント株式会社**

タカラベルモント株式会社
〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1
Tel: 06-6212-3619
<http://www.takara-dental.jp>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10
Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>

 **株式会社 東京技研**

株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>

 **Tokuyama Dental**

株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>

 **NISSIN**


株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>

 **HAKUSUI**

白水貿易株式会社
〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15
Tel: 06-6396-4400
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>

Panasonic

パナソニックヘルスケア株式会社
〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5
西新橋MFビル
Tel: 03-5408-7290
<http://panasonic.co.jp/hcc/phc/>

 **SUPPLY-HOUSE | 南浪漫果**
株式会社 ハーマンズ

株式会社ハーマンズ
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
若葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
<http://www.hermans1984.co.jp/>

 **Dent Wave.com**

プランネットワークス株式会社
〒104-0042 東京都中央区入船2-1-1
住友入船ビル1304
Tel: 03-3523-4188
<http://www.dentwave.com>

PENTRON®
JAPAN INC.

ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
L・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>

MOKUDA

株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>

 **株式会社 ヨシダ**

株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

サウスコーストデンタル株式会社
メディア株式会社

PRECISION MICROSCOPE

BrightVision®



被写体を明るく鮮明に映し出す
ハイスpekな光学レンズシステムと
ビデオ出力機能を標準装備*

*CCDカメラ設定なしモデルもございます。

**コストパフォーマンスに優れた
歯科用マイクロスコープ**

ブライトビジョン 4000 シリーズ

¥1,950,000 (ハロゲン照明・CCDカメラ内蔵)

一般医療機器 機械器具 25 医療用鏡 可搬型手術用顕微鏡 (36354020) 届出番号: 13B2X00022000033号

ブライトビジョンLED 5000 シリーズ

¥2,300,000 (LED照明・CCDカメラ内蔵)

一般医療機器 機械器具 25 医療用鏡 可搬型手術用顕微鏡 (36354020) 届出番号: 13B2X00022000043号

製造販売元: **ペンタロン ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 レ・ジュ大井町 6F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320



KATANA ZIRCONIA FRAME

新たなステージへ。

高精度になった新スキャナーの導入により、
適合精度が向上しました。



理想的なフレーム形態を
コンピューターが作り上げる
シュリンク形状

テクニシヤンの要望を
細部まで再現する
Dスキャン

口腔内でのポーセレンチップングを
未然に防ぐ
サポート形状



NORITAKE
Dental CAD/CAM System
KATANA
カタナシステム

※ノリタケ カタナジルコニアフレームをご発注いただくためには事前登録が必要となります。登録についてはお出入りの歯科商店様、または最寄りの(株)モリタにご連絡いただき、登録用紙をご請求ください。

- 販売名 ノリタケ デンタルスキャナー SC-3
- 一般的名称 歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット
- 医療機器届出番号 15B1X10001290003
- 医療機器の分類 一般医療機器(クラスI)

製造販売 クラレノリタケデンタル株式会社 新潟県胎内市倉敷町2-28

発売 **株式会社モリタ** 大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL.06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL.03-3834-6161

www.dental-plaza.com

STOP BEING SO SENSITIVE!

知覚過敏抑制材 ウルトライーズ



医療機器認証番号:223AKBZX00097000

UltraEZ

歯科用口腔清掃キット
オパールーストラ

近日発売
予定!



医療機器届出番号:13B1X10086000055

矯正ブラケット除去後



使用前



オパールーストラ使用后

ウルトラデントジャパン
ULTRADENT
JAPAN 株式会社

〒151-0071 東京都渋谷区本町 1-7-5 初台村上ビル 4F
TEL: 03-5365-1760 FAX: 03-5365-1759
第一種医療機器製造販売業 許可番号: 13B1X10086

<http://www.ultradentjapan.com>

☎ 0120-060-751



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人／千田 彰

編集／日本歯科審美学会

ホームページ・ニュースレター委員会

印刷／三宝印刷株式会社

日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/